



『電気がいつでも使える』は当たり前？

考えてみよう！ 私たちの暮らしと電気

電気について知ることで、お財布にも地域にも地球にも優しい暮らし方を考えてみませんか？今月は暮らしに欠かせない『電気』について特集します。

3月の『電力需給ひっ迫警報』を教訓に！

今年の3月21日、東北地方で起きた地震による発電所の停止や、季節外れの寒さなどの影響で、『電力需給ひっ迫警報』が発令されたのを覚えていますか。この発令は、2012年の制度開始以来初めてのことでしたが、結果的には、一人ひとりの節電努力などで『停電』は回避されました。

このように、安定して電気を使うためには、一人ひとりの意識が大切です。また、その背景には日本のエネルギー事情も関係しています。私たちの暮らしに欠かせない電気を、どう作り、どう使うのか。夏の節電対策を前に、改めて考えてみませんか。

まずは見てみよう！ 日本のエネルギー事情

主要各国の一次エネルギー自給率の比較において、日本のエネルギー自給率は低い水準にあることが分かります（下記グラフ参照）。これは、私たちが普段使っている

エネルギーのほとんどが、海外から輸入した資源で作られているということです。

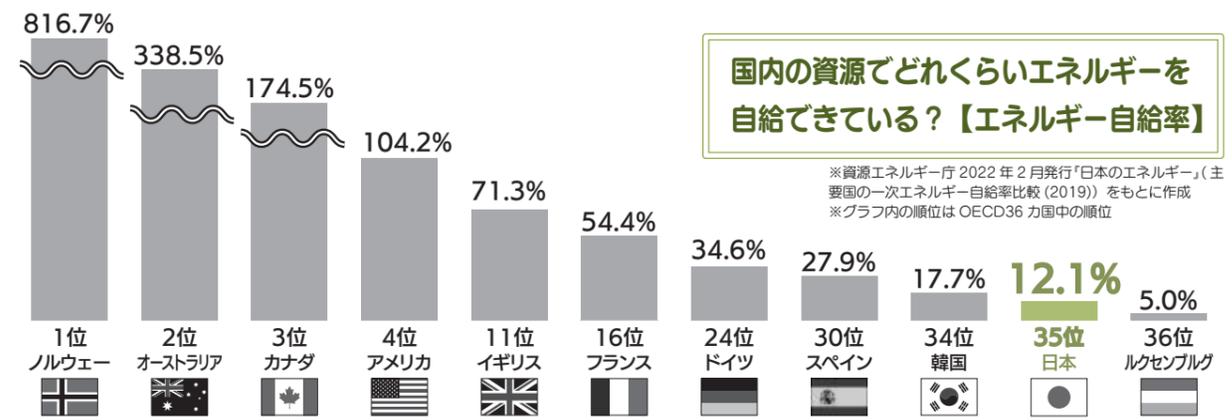
エネルギー自給率が低いと、国際情勢などに影響されてエネルギー資源を安定的に確保できないことが大きな課題としてあります。また、エネルギー資源を輸入するためには、多額の資金を費やすこととなります。

電気はどうやって作られている？

エネルギーの中でも、私たちの暮らしと密接な関わりのある電気は、大半が石炭、天然ガスなどの化石燃料から発電されています（左記グラフ参照）。この化石燃料は、発電量を調整しやすい利点がありますが、輸入に頼らなければならぬだけでなく、排出される温室効果ガスが地球温暖化の原因の1つとなっているのです。

そのため、二酸化炭素などの温室効果ガス排出量の実質ゼロを目指して、国内で自給し温室効果ガス排出も抑制できる、『太陽光などの再生可能エネルギー』の割合

国内の資源でどれくらいエネルギーを自給できている？【エネルギー自給率】



※資源エネルギー庁 2022年2月発行「日本のエネルギー」(主要国の一次エネルギー自給率比較(2019))をもとに作成
※グラフ内の順位はOECD36カ国中の順位

日本の電気は何から作られている？ 【2020年電源構成】

出典：資源エネルギー庁集計結果又は推計結果(総合エネルギー統計)「時系列表」



Point!
2030年には太陽光発電を14～16%に増やすことが目標となっています。深谷市は、過去10年(2009～2018年)の快晴日数が全国1位で、太陽光発電の地産地消に適しています。

を増やすことが求められています。深谷市も『ゼロカーボンシティふかや』を宣言し、環境に配慮した取り組みを進めています。

考えてみよう『電力事情に合わせた暮らし方』

ここまで見てきたように、日本のエネルギーや電力には、さまざまな背景があります。『電気は使えて当たり前』ではなく、『電気を安定して使えるように』暮らし方を考えることも必要です。

ふっかちゃん でんきに売電 消に貢献！



ふかやeパワー(株)(通称『ふっかちゃんでんき』)は、市も出資する地域に根差した地域新電力会社です。市内の家庭や企業で太

減らし、1日の電力消費量を平準化することで、電気の安定供給が可能になるほか、電気料金の安定も期待できます。

身近なことから、電力事情に合わせた暮らし方を実践してみませんか。

太陽光発電の電気などを決められた価格で買い取る固定価格買取制度(FIT)の対象期間が終了する家庭は、売電先を見直すチャンスです。余剰電力を、ふっかちゃんでんきに売電しませんか。

詳しくは、ふかやeパワー(株) 578-8217(☎)ふっかちゃんでんき(☎)で検索)にお問い合わせください。

家庭も事業所もクールチョイスで省エネ・節電！



『クールチョイス』は、温室効果ガスの排出削減のために、日々の生活の中で『賢い選択』をしていこうという取り組みで、省エネや節電もその1つです。

夏場は、冷房器具の使用などで消費電力が増える季節。電力不足を回避するためにも、無理のない範囲でご協力をお願いします。

電気を使う時間をずらす

ピークタイム(夏は午後1時～4時)の電気使用は最小限に!

室内の日差しを和らげる

緑のカーテン、すだれ、よしずなどが効果的!

緑のカーテンコンテストにも応募しよう!

クールビズで室温を28℃設定にする

熱中症にならないよう体調に無理のない範囲で!

冷房と扇風機を併用する

始めてみよう! 夏の『賢い選択』

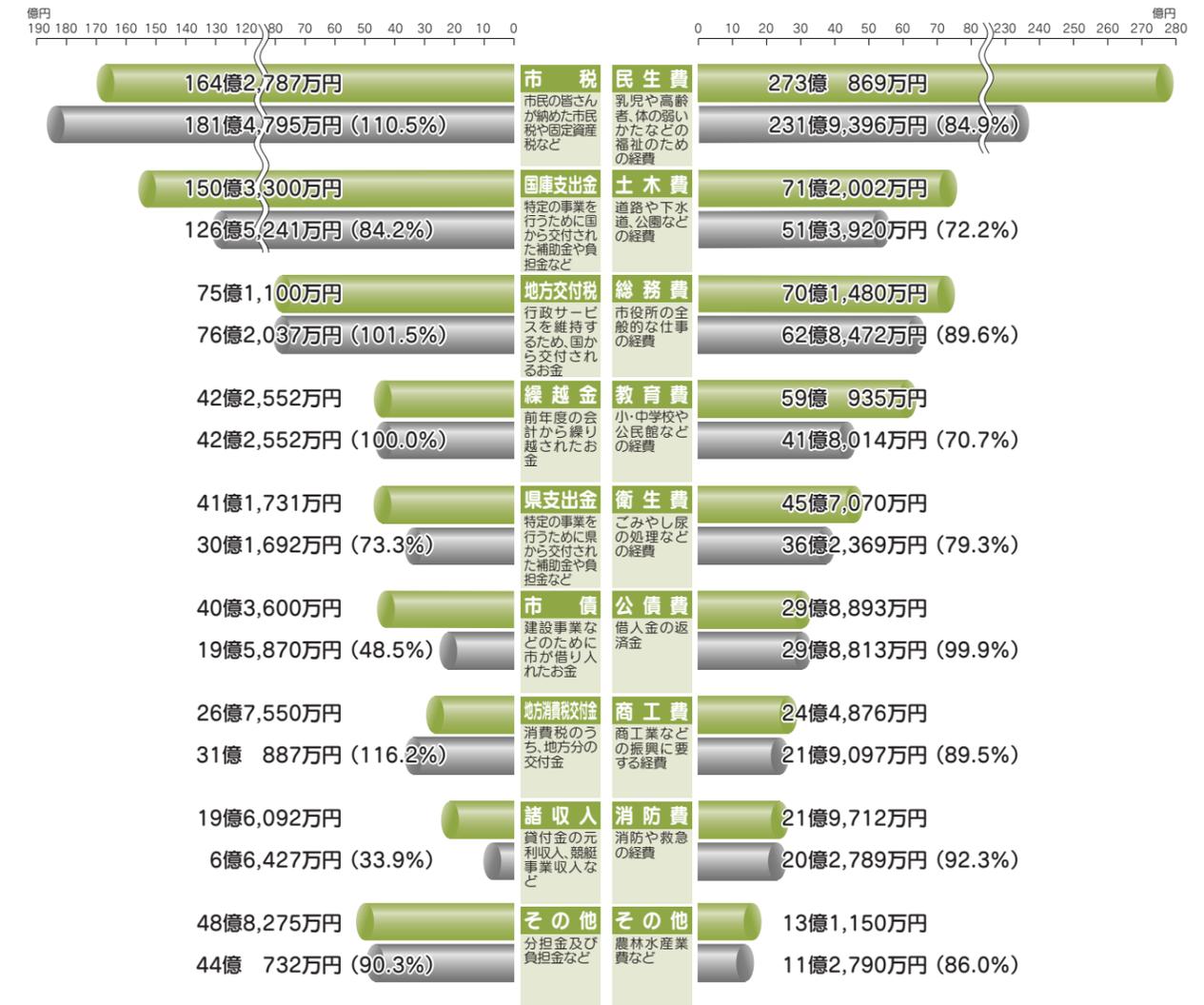
深谷市の財政状況

令和3年度（令和4年3月31日現在）の市の財政状況をお知らせします

市では、まちづくりのために、市民の皆さんに納めていただいた税金や市債(市の借入金)などを財源とし、効率的な財政運営に努めています。どのような事業にどのくらいお金が使われたかという『市の家計簿』ともいべき財政状況を年2回に分けてお知らせしています。

今回は、令和3年度(令和4年3月31日現在)の財政状況をお知らせします。

歳入 ← 一般会計 → 歳出



歳入予算額・608億6,987万円
 収入済額・558億232万円
 執行率・91.7%



予算額に対して、収入済額と支出済額のそれぞれに差がありますが、これは出納整理期間の収入・支出が加算されていないためです。決算の数値は、出納整理期間終了後の数値になります。
 (注)出納整理期間…年度内に終了した取引について、4月1日～5月31日までに現金を収入・支出した場合は、年度内に収入・支出したものと出納を処理することができます。この期間を出納整理期間といいます。

歳出予算額・608億6,987万円
 支出済額・507億5,660万円
 執行率・83.4%



※数値は表示金額未満を四捨五入しているため、合計額と一致しない場合があります。
 ※予算額は、令和2年度の繰り越し分を含みます。

特別会計

区分	予算額	収入済額	支出済額
国民健康保険	155億3,105万円	146億4,201万円	148億2,931万円
後期高齢者医療	30億318万円	29億1,707万円	27億6,726万円
国済寺土地区画整理事業	8億6,127万円	8億2,172万円	6億391万円
ふかや花園駅前土地区画整理事業	21億696万円	9億88万円	8億377万円

市有財産

市が保有する公有財産のうち、土地は3,212,300㎡、建物は401,834㎡です。庁舎、学校、公園などの行政財産と、それ以外の普通財産とに分かれます。

区分	土地		建物	
	面積 (㎡)	評価額 (万円)	面積 (㎡)	評価額 (万円)
土地および建物	2,893,517	377,870	318,783	23,964
計	3,212,300	401,834		
物権(地上権)		495		
有価証券(テレビ埼玉ほか株券)		7,635		
出資による権利(埼玉県信用保証協会出金など)		108,320		
債権		2,646		
基金(行政振興基金など)		251,338		

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症への対応として、さまざまな対策を講じてまいりました。

特に、早急な対応が求められるワクチン接種に関しましては、関係機関の皆さんと連携を密にしながら、より多くの方々に早期に接種していただけるよう、組織一丸となって対応してまいりました。また、感染者数の増加に伴い、自宅療養者に対し食料品や日用品の支援などを実施してまいりました。

一方で、大河ドラマ『青天を衝け』の放送に合わせて深谷公民館に設置いたしました大河ドラマ館では、徹底した感染症対策を講じた上で多くの方々にご来館いただき、本市の魅力を広くPRしてまいりました。

教育の分野においては、公立幼稚園でのサービスを拡充し、全園で3歳児受け入れの開始、平日の預かり時間延長、長期休業中の預かり事業を実施してまいりました。また、花園インターチェンジ拠点整備プロジェクトでは、令和4年度のオープンに向けて、農業と観光の振興を目的に、着実に事業を実施してまいりました。

令和4年度は、ポストコロナの新しい社会を見据え、『みんながうれしいふかや』を実現させるため、各施策を推進してまいります。

深谷市長 小島 進

企業会計

水道事業 (税込み)

区分		予算額		収入済額	
		収入	支出	収入	支出
収益的収支	収入	31億7,671万円		25億7,112万円	
	支出		28億5,491万円		13億9,291万円
資本的収支	収入	16億1,486万円		5億6,941万円	
	支出		34億5,215万円		14億4,144万円

下水道事業 (税込み)

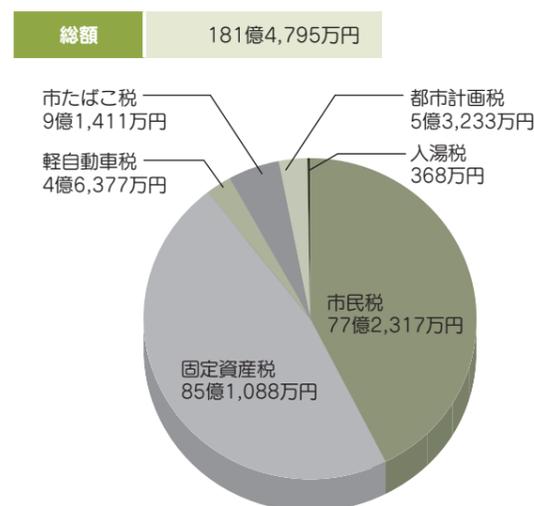
区分		予算額		収入済額	
		収入	支出	収入	支出
収益的収支	収入	35億1,654万円		23億187万円	
	支出		33億7,874万円		12億7,977万円
資本的収支	収入	17億8,840万円		9億1,854万円	
	支出		29億8,199万円		23億4,233万円

市債(借入金)

会計名	残高
一般会計	445億6,467万円
土地区画整理事業特別会計	14億8,824万円
国済寺特別会計	12億2,614万円
ふかや花園駅前特別会計	2億6,210万円
水道事業会計	100億1,495万円
下水道事業会計	183億9,128万円
合計	744億5,914万円

市民1人あたりに換算すると **524,349円**
 1世帯あたりに換算すると **1,208,203円**
 (人口142,003人 世帯数61,628世帯 令和4年3月31日現在)

市税の内訳



※数値は表示金額未満を四捨五入しているため、合計額と一致しない場合があります。